

# I ま え が き

国において強力に進められている経済対策などにより、我が国の景気は回復に向かっているとされている中、本市におきましても、企業収益の改善により法人市民税が増加するとともに、引き続き家屋の新增築の堅調な推移により固定資産税が増加するなど、平成26年度の市税収入は、前年度と比べて2.8%増加し、当初予算としては過去最大になるものと見込んでいます。

一方で、行政需要につきましても、少子高齢化の一層の進展等を背景に、確実に増大・多様化していることなどから、本市財政は依然として厳しい状況にあり、また、社会保障制度の改革とともに消費税率引上げの影響につきましても、引き続き注視していかなければならないと考えています。

このような中、平成26年度予算は、「子どもたちの笑顔」が輝くまちの実現を最優先の課題として、まずは、待機児童の解消に向けた取組を加速させるとともに、中学校給食の導入の早期実現が図られるよう、しっかりと予算配分を行いました。

また、災害対策の推進、交通基盤の整備、先端技術を活かした産業振興や国際競争力の強化など、「安心のふるさとづくり」と「力強い産業都市づくり」に向けた施策につきましても、必要な事業費を計上しました。

今後も、社会保障経費の増加や更新需要等に伴う投資的経費の増加などが見込まれていますが、直面する課題に適確に対応し、「最幸」のまちの実現に向けた取組を着実に進めてまいります。また、これを支える持続可能な行財政基盤の確立に向け、メリハリのある行財政改革の取組とともに、将来負担等の中長期的な視点にも十分留意した財政運営に取り組んでまいります。

平成26年度予算及び平成25年度予算執行のあらましなどは、以下のとおりです。